

点検橋梁総括表

No.	橋梁番号 (分割番号)	橋梁ID	橋梁名	橋梁名 フリガナ	路線名	径間数	上部形式1	上部形式2	橋長 (m)	全幅員 (m)	有効幅員 (m)	架設 年度	供用年	点検年	健全性判定区分							所見等		
															主桁	横桁	床版	下部 構造	支承部	その他	判定 区分			
1	0012	44.89811, 141.92399	栄橋	サカエハシ	雄信内1条通線	5	H型鋼,H型 鋼,H型鋼,H 型鋼,H型鋼	H形鋼(非合成),H形 鋼(非合成),H形鋼 (非合成),H形鋼(非 合成),H形鋼(非合 成)	86.90	6.30	5.50	1990	31	2020	I	I	III	II	II	II	II	II	道路橋の機能に支障は生じていないが、床版にひびわれが見られるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	
2	0015	44.92369, 141.87809	開発橋	カイハツハシ	円山東5線	1	鋼溶接橋	I桁(非合成)	23.20	8.00	7.00	1980	41	2020	II	II	I	II	III	III	II	II	道路橋の機能に支障は生じていないが支承部の機能障害、伸縮装置からの漏水、防護柵の板厚減少を伴う腐食が見られるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	
3	0021	44.88327, 141.90211	7線1号橋	7セン1ゴウ ハシ	雄信内7線沢線	1	鋼溶接橋	I桁(非合成)	27.70	7.00	6.00	1978	43	2020	II	II	II	II	III	III	III	III	III	地覆に剥離・鉄筋露出、防護柵に板厚減少を伴う腐食、排水装置ボルトの脱落、舗装には路面の凹凸、支承部の機能障害は板厚減少を伴う腐食の進行が見られ、道路橋の機能に支障が生じる可能性があるため早期に措置を講ずべき状態である。
4	0025	44.86852, 141.93277	22号橋	ニジウニゴウ ハシ	雄信内22号線	3	鋼溶接橋,鋼溶 接橋,鋼溶接橋	I桁(非合成),I桁 (非合成),I桁(非合 成)	80.10	6.80	6.00	1973	48	2020	II	II	II	III	III	III	III	III	III	下部工のひびわれ、支承部の機能障害は支承直下に空洞化、伸縮装置からの漏水、地覆に剥離・鉄筋露出が見られ、道路橋の機能に支障が生じる可能性があるため早期に措置を講ずべき状態である。
5	0026	44.86852, 141.93277	葵橋	アオイハシ	雄信内23号線	1	鋼溶接橋	I桁(非合成)	37.80	7.00	6.00	1973	48	2020	II	II	III	II	III	III	II	II	道路橋の機能に支障は生じていないが、局部的に床版にひびわれ、支承部の機能障害、伸縮装置からの漏水、防護柵に断面欠損を伴う腐食が見られるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	
6	0029	44.85408, 141.92701	協成橋	キョウセイハ シ	雄信内25号線	3	鋼溶接橋,鋼溶 接橋,鋼溶接橋	I桁(非合成),I桁 (非合成),I桁(非合 成)	80.00	5.30	4.50	1971	50	2020	II	II	II	III	II	II	III	III	III	鋼部材に腐食、下部工にASRによるひびわれが見られ、損傷の進行が確認されるため、健全性を早期措置段階とする。早期措置として鋼部材の塗装塗替え、下部工のASR対策、橋面防水、地覆・防護柵の補修が必要である。
7	0031	44.83175, 141.93548	豊才橋	ホウサイハシ	雄信内泉源線	1	PC橋	その他(PC橋)	23.60	6.50	5.50	1977	44	2020	I	I	II	II	II	III	II	II	道路橋の機能に支障は生じていないが、伸縮装置からの漏水、防護柵の変形・欠損、排水装置に板厚減少を伴う腐食が見られるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	
8	0032	44.82963, 141.94409	横山橋	ヨコヤマハシ	雄信内30号線	1	鋼溶接橋	I桁(非合成)	37.20	8.70	7.50	1995	26	2020	I	I	III	III	II	III	II	II	道路橋の機能に支障は生じていないが、床版のひびわれ、下部工のひびわれ、伸縮装置からの漏水が見られるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	
9	0033	44.82983, 141.93137	30号橋	サンジユウゴ ワハシ	雄信内30号線	2	鋼溶接橋	I桁(非合成)	85.80	9.20	8.00	1998	23	2020	II	I	III	II	II	II	II	II	II	道路橋の機能に支障は生じていないが、床版のひびわれが見られるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
10	0038	44.81812, 141.92862	芙蓉橋	フヨウハシ	泉源万保沢線	2	鋼溶接橋,鋼溶 接橋	I桁(非合成),I桁 (非合成)	65.00	5.50	4.50	1969	52	2020	II	II	III	III	II	III	III	III	III	床版と下部工にひびわれや剥離・鉄筋露出、地覆に剥離・鉄筋露出、伸縮装置からの漏水、防護柵に板厚減少を伴う腐食が見られ、道路橋の機能に支障が生じる可能性があるため早期に措置を講ずべき状態である。
11	0042	44.79832, 141.91847	左沢橋	ヒダリサワハ シ	雄信内左沢線	2	H型鋼,H型鋼	H形鋼(合成),H形鋼 (合成)	43.00	5.80	5.00	1972	49	2020	I	I	III	I	I	I	II	II	床版のひびわれは局部的な損傷で、道路橋の機能に支障は生じていないため経過観察とする。	
12	0046	44.93437, 141.86925	東四線橋	ヒガシヨンセ ンハシ	産土線	1	鋼溶接橋	I桁(非合成)	47.00	8.20	7.00	2013	8	2020	I	I	I	I	I	I	I	I	I	健全と判断する。
13	0047	44.93390, 141.86279	南八号橋	ミナミハチゴ ウハシ	産土東3線	1	H型鋼	H形鋼(合成)	17.50	6.20	5.00	1989	32	2020	II	I	II	I	II	II	II	II	II	重要部材の主桁・支承に腐食が見られる。その他部材の排水装置に板厚減少を伴う腐食、防護柵に亀裂が見られる。重要部材に過年度からの進行が確認されなかったため、健全性を予防保全段階とする。予防保全として、塗装塗替えの実施が望ましい。
14	0051	44.95522, 141.82419	北産土橋	キタウブシハ シ	産土山手線	1	H型鋼	H形鋼(合成)	20.80	7.50	6.50	1980	41	2020	II	II	I	I	II	II	II	II	II	重要部材の支承に腐食が見られる。その他部材の伸縮に漏水、防護柵に亀裂、排水装置に腐食が見られる。過年度からの進行が確認されたため、健全性を予防保全段階とする。予防保全として、塗装塗替えの実施が必要である。
15	0055	44.98377, 141.83455	作返橋	サツカイシハ シ	産土北1号線	1	鋼溶接橋	I桁(非合成)	32.80	8.20	7.00	1979	42	2020	II	II	I	II	II	II	II	II	II	重要部材の支承に防食機能の劣化が見られる。その他部材の防護柵に破断、舗装に路面の凹凸が見られる。支承部に板厚減少を伴う腐食や過年度からの進行が確認されなかったため、健全性を予防保全段階とする。予防保全として、塗装塗替えの実施が望ましい。

点検橋梁総括表

No.	橋梁番号 (分割番号)	橋梁ID	橋梁名	橋梁名 フリガナ	路線名	径間数	上部形式1	上部形式2	橋長 (m)	全幅員 (m)	有効幅員 (m)	架設 年度	供用年	点検年	健全性判定区分							所見等
															主桁	横桁	床版	下部 構造	支承部	その他	判定 区分	
16	0056	44.95895, 141.74793	酪論橋	ラクユウキョ ウ	川口4線	1	PC橋	プレテン中空床版	17.70	8.20	7.00	2007	14	2020	I	-	I	I	I	I	I	排水装置付近の主桁において漏水・遊離石灰が見られる。損傷が局部的であり過年度から進行は確認されないため、健全と判断する。
17	0057	44.95119, 141.74320	酪光橋	ラクコウキョ ウ	北川口草地線	1	PC橋	プレテン中空床版	16.60	6.20	5.00	2007	14	2020	I	-	I	I	I	I	I	重要部材に損傷が確認されなかったため、健全と判断する。
18	0059	44.93891, 141.74706	酪じゅう橋	ラクシュウバ シ	川口3線	1	鋼溶接橋	I桁(非合成)	22.65	8.70	7.50	1991	30	2020	II	II	II	I	II	II	II	重要部材の支承に防食機能の劣化が見られる。その他部材に伸縮の排水装置に腐食が見られる。板厚減少を伴う腐食でないことや過年度からの進行が確認されなかったため、健全性を予防保全段階とする。予防保全として、塗装塗替えの実施が望ましい。
19	0060	44.93483, 141.75255	新酪藤橋	シラカハシ	川口3号線	1	PC橋	プレテン中空床版	17.64	6.20	5.00	2008	13	2020	I	-	I	I	I	I	I	健全と判断する。
20	0062	44.93163, 141.73537	基線橋	キセンバシ	川口基線	1	H型鋼	H形鋼(合成)	23.70	7.50	6.50	1978	43	2020	II	II	II	I	III	II	III	重要部材の支承に腐食が見られる。その他部材の防護柵・排水装置に腐食が見られる。支承部に板厚減少を伴う腐食や過年度からの進行が確認されたことから、健全性を早期措置段階とする。早期措置として、塗装塗替えの実施が必要である。
21	0064	44.88207, 141.75013	六志内橋	ロクシナイハ シ	東1条通線	1	PC橋	ボステンI桁(合成)	31.80	9.80	9.10	1974	47	2020	II	II	II	I	III	II	III	重要部材の支承に腐食が見られる。その他部材に排水装置の脱落、地覆に剥離・鉄筋露出が見られる。支承部に板厚減少を伴う腐食が確認されたため、健全性を早期措置段階とする。早期措置として、支承の塗替えが必要である。
22	0066	44.88819, 141.78190	石山橋	イシヤマバシ	更岸5線	1	H型鋼	H形鋼(非合成)	17.50	5.50	4.70	1970	51	2020	II	II	II	II	II	II	II	重要部材の下部工に洗掘、支承に防食機能の劣化が見られる。その他部材は、防護柵に破断が見られる。支承に板厚減少を伴う腐食がないことや下部工の洗掘は前面の積ブロックで土砂流出を防止しているため、健全性を予防保全段階とする。予防保全として、塗装塗替え、洗掘対策の実施が望ましい。
23	0071	44.89895, 141.81486	西産土橋	ニシツクハシ	西産土13号線	1	PC橋	PC桁橋(その他)	14.52	6.50	5.50	1978	43	2020	I	-	II	II	II	II	II	重要部材の下部工にひびわれ、支承に機能障害が見られる。その他部材の伸縮に漏水、地覆は凍害による剥離が見られる。過年度からの進行が確認されなかったため、健全性を予防保全段階とする。予防保全として、下部工にひびわれ注入、伸縮の取替、地覆の断面修復の実施が望ましい。
24	0072	44.85419, 141.76756	宮崎橋	ミヤザキバシ	更岸8号線	1	H型鋼	H形鋼(合成)	21.60	8.70	7.50	1986	35	2020	II	II	II	I	II	II	II	重要部材の支承に防食機能の劣化が見られる。その他部材に排水装置の腐食が見られる。板厚減少を伴う腐食でないことや過年度からの進行が確認されたため、健全性を予防保全段階とする。予防保全として、塗装塗替えの実施が望ましい。
25	0074	44.86083, 141.77391	土川橋	ツチカワバシ	更岸3線	1	H型鋼	H形鋼(合成)	16.90	8.70	7.50	1980	41	2020	II	II	I	I	II	II	II	重要部材の支承に板厚減少を伴う腐食が見られるものの、過年度からの進行が確認されないため、健全性を予防保全段階とする。予防保全として、塗装塗替えの実施が望ましい。
26	0077	44.84478, 141.77927	入植橋	ニクウシヨク ハシ	更岸3線	1	H型鋼	H形鋼(合成)	17.50	8.70	7.50	1983	38	2020	II	II	I	I	II	II	II	重要部材の支承に板厚減少を伴う腐食が見られるものの、過年度からの進行が確認されないため、健全性を予防保全段階とする。予防保全として、塗装塗替えの実施が望ましい。
27	0078	44.83958, 141.78102	拓地橋	タクチバシ	更岸3線	1	H型鋼	H形鋼(非合成)	14.18	8.70	7.50	1976	45	2020	II	II	II	I	III	II	III	重要部材の支承に板厚減少を伴う腐食が見られる。その他部材の伸縮に漏水、防護柵に破断、排水装置の腐食が見られる。重要部材に過年度からの進行が確認されたため、健全性を早期措置段階とする。早期措置として、塗装塗替えの実施が必要である。
28	0081	44.84674, 141.79068	床津内橋	トコツナイバ シ	中更岸線	1	鋼溶接橋	I桁(合成)	29.20	8.70	7.50	1995	26	2020	II	II	I	II	II	II	II	重要部材の支承に防食機能の劣化が見られる。その他部材の伸縮の排水装置に腐食が見られる。支承部に板厚減少を伴う腐食や過年度からの進行が確認されなかったため、健全性を予防保全段階とする。予防保全として、塗装塗替えの実施が望ましい。
29	0088	44.82856, 141.79501	中の沢橋	ナカノサワバ シ	更岸14号線	1	RC橋	その他(RC橋)	28.50	8.70	7.50	2002	19	2020	II	-	II	I	I	II	II	重要部材の主桁に腐食・防食機能の劣化が見られる。板厚減少を伴う腐食ではないため、健全性を予防保全段階とする。予防保全として、塗装塗替えの実施が望ましい。
30	0091	44.81856, 141.76477	浜更岸橋	ハマサラキシ バシ	浜更岸基線	1	鋼溶接橋	I桁(非合成)	31.30	7.50	6.50	1979	42	2020	II	II	I	I	III	III	III	重要部材の支承に腐食が見られる。その他部材の伸縮の排水装置に腐食が見られる。支承部に板厚減少を伴う腐食が確認されたため、健全性を早期措置段階とする。早期措置として、塗装塗替えの実施が望ましい。

点検橋梁総括表

No.	橋梁番号 (分割番号)	橋梁ID	橋梁名	橋梁名 フリガナ	路線名	径間数	上部形式1	上部形式2	橋長 (m)	全幅員 (m)	有効幅員 (m)	架設 年度	供用年	点検年	健全性判定区分							所見等	
															主桁	横桁	床版	下部 構造	支承部	その他	判定 区分		
31	0098	44.87887, 141.74615	南開橋	ナンカイバシ	山手裏通線	2	PC橋, PC 橋	ポステンT桁, ポステン T桁	46.50	10.50	9.50	1983	38	2020	I	I	II	II	II	II	II	重要部材の床版および下部工にうき・剥離・鉄筋露出が見られる。その他部材に排水装置の腐食・破断が見られる。損傷が局部的であり、過年度からの進行が見られないため、健全性を予防保全段階とする。予防保全として、ひびわれ注入の実施が望ましい。	
32	0099	44.82119, 141.78012	東北排水橋	サラキタハイ スイバシ	更岸2線	1	H型鋼	H形鋼(合成)	17.90	8.50	7.50	1967	54	2020	I	I	II	II	I	I	II	2018年11月に主桁・支承の塗替え、伸縮取替、防護柵取替、橋面防水の補修を行っている。重要部材の下部工・床版にひびわれが見られるものの、過年度からの進行が確認されなかったため、健全性を予防保全段階とする。予防保全として、下部工・床版のひびわれ補修を実施することが望ましい。	
33	0109	44.93261, 141.74884	酪藤橋	ラクトウバシ	川口8号線	1	H型鋼	H形鋼(合成)	15.80	7.70	6.50	1990	31	2020	II	II	I	II	II	II	II	重要部材の主桁、横桁に腐食、防食機能の劣化が見られる。その他部材の排水装置に腐食、防食機能の劣化が見られる。板厚減少を伴う腐食でないことから、健全性を予防保全段階とする。予防保全として、塗装塗替えの実施が望ましい。	
34	0111	44.80855, 141.92422	泉源大橋	センゲンオオ ハシ	雄信内34号線	2	H型鋼, H型 鋼	H形鋼(合成), H形鋼 (合成)	61.50	7.70	6.50	1991	30	2020	I	I	III	II	II	II	II	道路橋の機能に支障は生じていないが、床版のひびわれが見られるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	
35	0115	44.88162, 141.74672	新川橋	シンカワバシ	新栄通線	2	H型鋼, H型 鋼	H形鋼(合成), H形鋼 (合成)	35.50	10.40	10.00	1972	49	2020	II	II	II	II	II	II	II	重要部材の支承に板厚減少を伴う腐食が見られるものの、過年度からの進行が確認されないため、健全性を予防保全段階とする。予防保全として、塗装塗替えの実施が望ましい。	
36	0115	44.88162, 141.74672	新川橋	シンカワバシ	新栄通線	2	H型鋼	H形鋼(合成)	35.50	3.40	3.00	1982	39	2020	II	II	II	II	II	II	II	重要部材の支承に板厚減少を伴う腐食が見られるものの、過年度からの進行が確認されないため、健全性を予防保全段階とする。予防保全として、塗装塗替えの実施が望ましい。	
															I	12	10	12	16	7	6	4	
															II	24	21	17	16	21	22	24	
															III	0	0	7	4	8	8	8	
															IV	0	0	0	0	0	0	0	
															-	0	5	0	0	0	0	0	